



2023年4月26日(水) くもりのち晴れ

4月下旬、新緑のまぶしい季節を迎え、えのくまふあーむでも年中さんが植えた玉ねぎとジャガイモが元気よく育っています。玉ねぎは少しずつ根元が膨らみ始めています。一方のジャガイモは、新芽を3本まで間引き土寄せをしてあげました。これから春の光を浴びて、すくすく育ってくれることでしょう。

春になると赤いテントウムシが見られるようになります。卒園児が描いてくれたえのくまふあーむの看板にもテントウムシがいます。でも、なぜテントウムシは鳥(天敵)などに見つかりやすい赤色をしているのでしょうか? 緑色のほうが目立たないと思いませんか。答えは、鳥に食べられるとテントウムシは、体から苦いものを出すそうです。食べた鳥は「赤い虫は苦くておいしくない!」と覚え、それからは赤い虫を食べなくなるそうです。つまりテントウムシは、鳥などに食べられないように、あえて目立つ赤い色をしているそうです。可愛らしいテントウムシの不思議でした。



2月の頃 小さかった玉ねぎ



だんだん大きくなっている玉ねぎ



3月の頃 芽を出したばかりのジャガイモ



葉を広げた一面のジャガイモ畑



3匹のテントウムシが描かれている看板

